

L4VM: マイクロカーネル上で動作する仮想マシンの構築

開発者: 腰前 秀成 (早稲田大学 大学院理工学研究科 修士課程)
杵淵 雄樹 (同上)

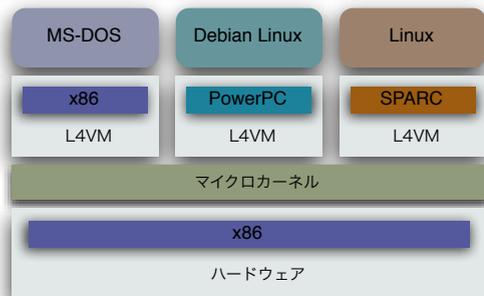
1台のマシン上で様々なCPUアーキテクチャのOSを動かす!

ー マイクロカーネル上にx86, PowerPC, SPARC等の様々なCPUのエミュレーションを行う仮想マシン(L4VM)を構築

異なるCPUアーキテクチャのOSを動作させるために3台のマシンが必要



1台のマシン上に3つのCPUアーキテクチャのOSを同時に実行させることが可能



主な特徴

- 同一マシン上にCPUアーキテクチャの異なるOSを同時に実行可能 (左図を参照)
 - ホストマシンとゲストOSのアーキテクチャが一致していなくてもゲストOSを動作させることが可能
- 各ゲストOSはシリアル, VGA, キーボードなどのハードウェアを共有して使用することが可能
- システムを容易に生成することが可能
 - 設定ファイルにシステム構成を記述しておくことにより、自動で全てのシステムコンポーネントを生成

